

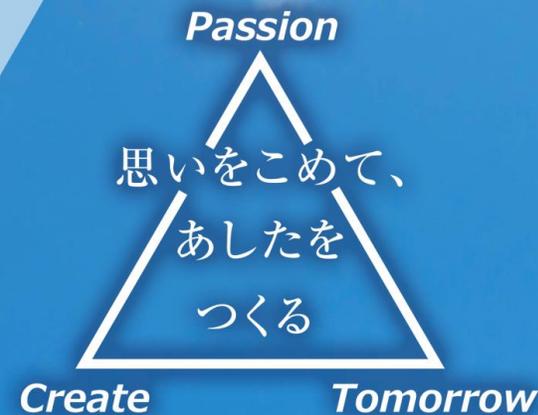
2026年3月期

第1四半期 決算説明資料

第102期：第1四半期累計期間

(2025年4月1日～2025年6月30日)

2025年7月25日



- 1. 第1四半期業績**
- 2. 2025年度通期予想**
- 3. 当社株式等に対する公開買付けについて**

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 1Q 連結業績

販売物量の増加により売上高、営業利益は過去最高

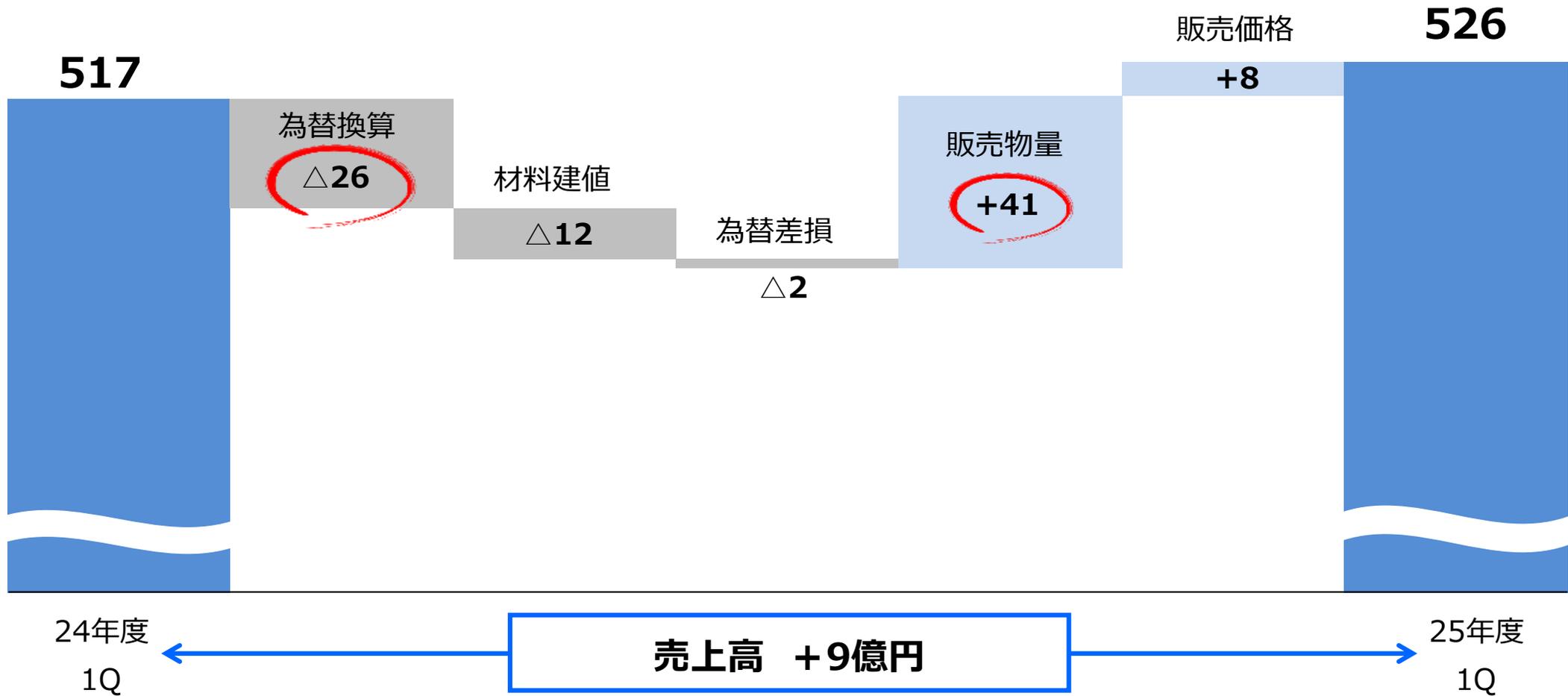
(億円、%)

	2024年度 1 Q実績	2025年度 1 Q実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	517	過去最高 526	+9	+1.8
営業利益	27	過去最高 44	+17	+61.4
営業利益率	5.4%	8.5%	+3.1P	-
経常利益	51	49	△2	△4.3
経常利益率	9.9%	9.3%	△0.6P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	過去最高 42	34	△8	△19.7
四半期純利益率	8.2%	6.5%	△1.7P	-
平均為替レート (米ドル)	154.6円	145.0円	△9.6円	-

1-2 連結売上高 増減要因

販売物量の増加により円高影響をカバーし、売上高は過去最高

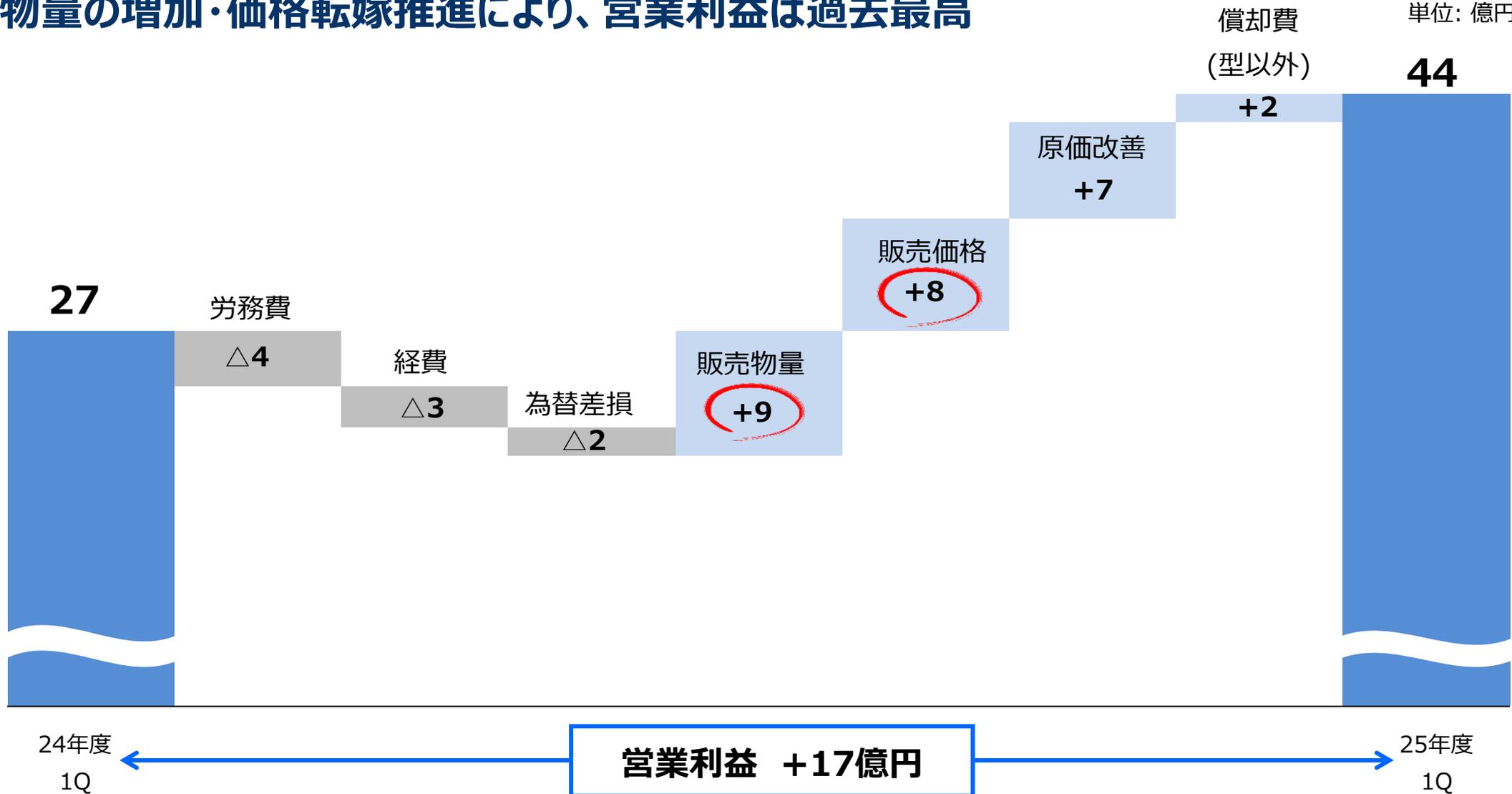
単位: 億円



1-3 連結営業利益 増減要因

販売物量の増加・価格転嫁推進により、営業利益は過去最高

単位: 億円



1-4 連結事業別セグメント

プレス・樹脂は、物量増加により増収・増益
バルブは、前年並み売上高も、円高影響により減益

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	24/1Q 実績	25/1Q 実績	増減	前年同期比 増減率	24/1Q 実績	25/1Q 実績	増減	前年同期比 増減率
プレス・樹脂	373	382	+8	+2.4	14	33	+19	+129.7
営業利益率					4.0%	8.9%	+4.9P	
バルブ	143	143	+0	+0.3	13	11	△2	△15.5
営業利益率					9.2%	7.8%	△1.4P	

1-5 連結地域別セグメント

日本は、物量増加により増収増益
 欧米は、円高により減収、物量増加により増益
 アジアは、前年並み

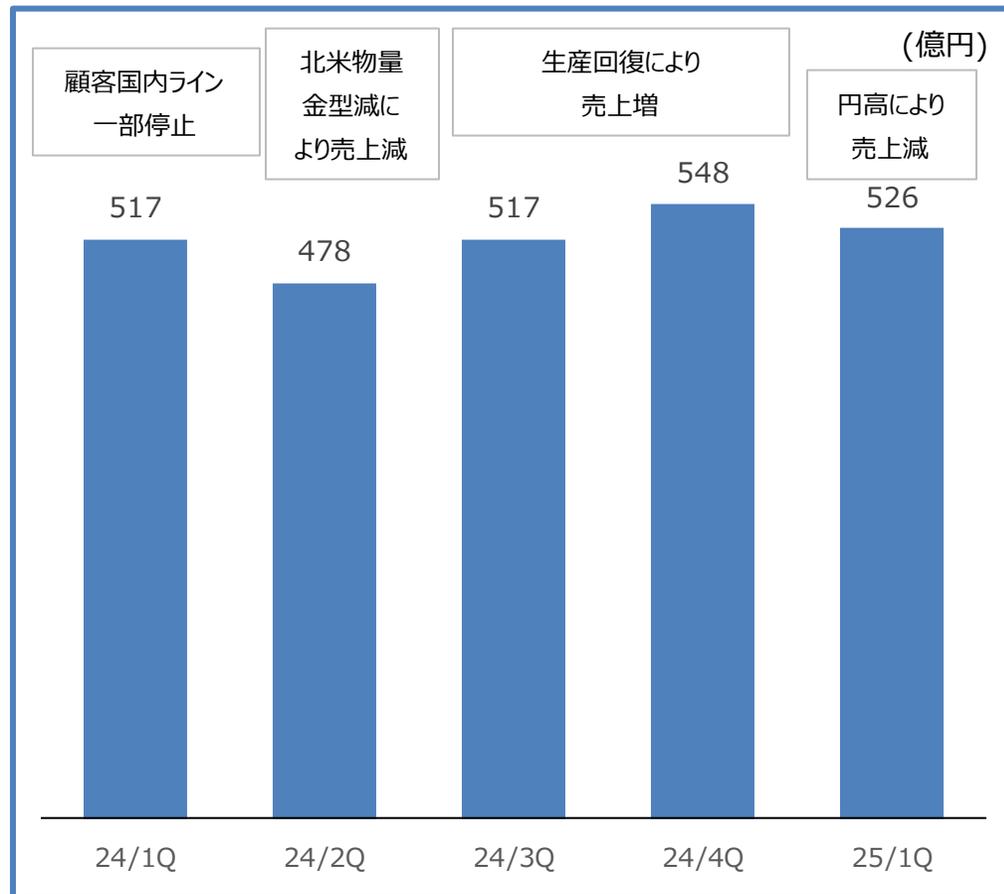
(億円、%)

	売上高				営業利益			
	24/1Q 実績	25/1Q 実績	前年同期比		24/1Q 実績	25/1Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率			増減	増減率
日本	162	174	+12	+7.6	8	14	+5	+65.5
営業利益率					5.2%	8.0%	+2.8P	
欧米	271	265	△5	△1.9	13	23	+9	+73.3
営業利益率					5.0%	8.8%	+3.8P	
アジア	83	85	+1	+2.3	4	6	+2	+49.7
営業利益率					5.4%	8.0%	+2.6P	

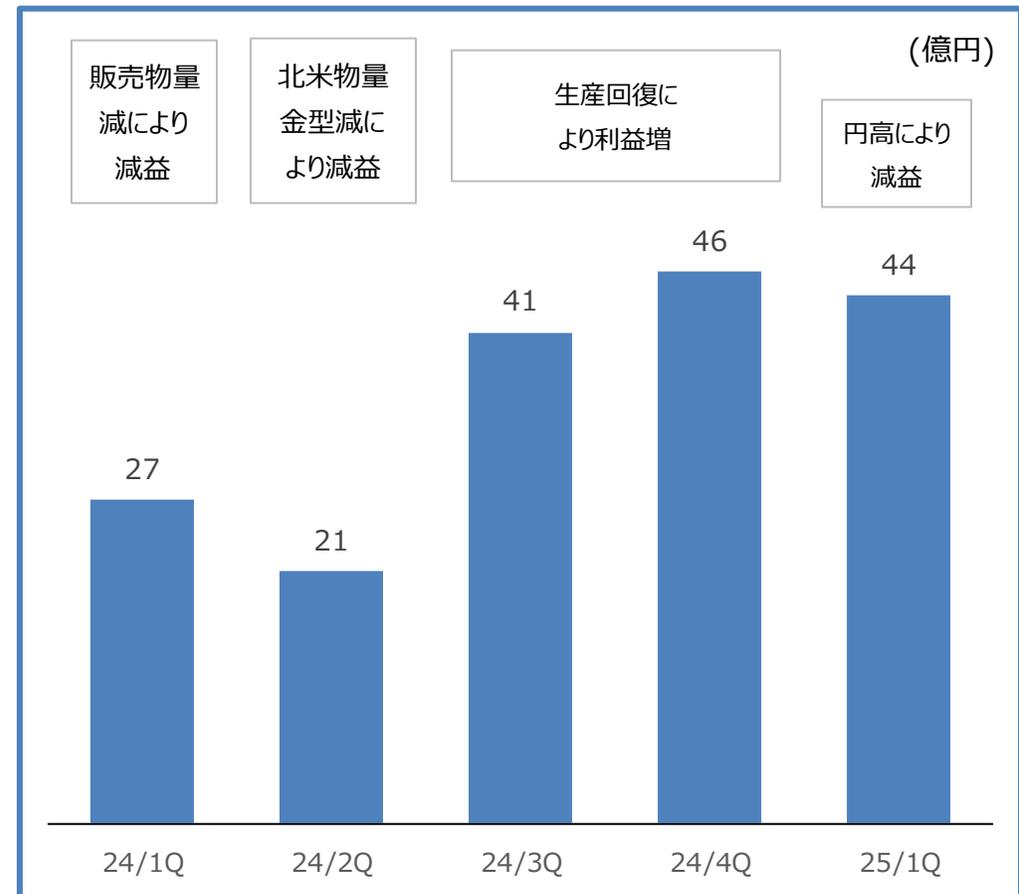
1-6 四半期別 連結業績推移

国内外での生産回復により24年度3Q以降、売上・利益増加

売上高

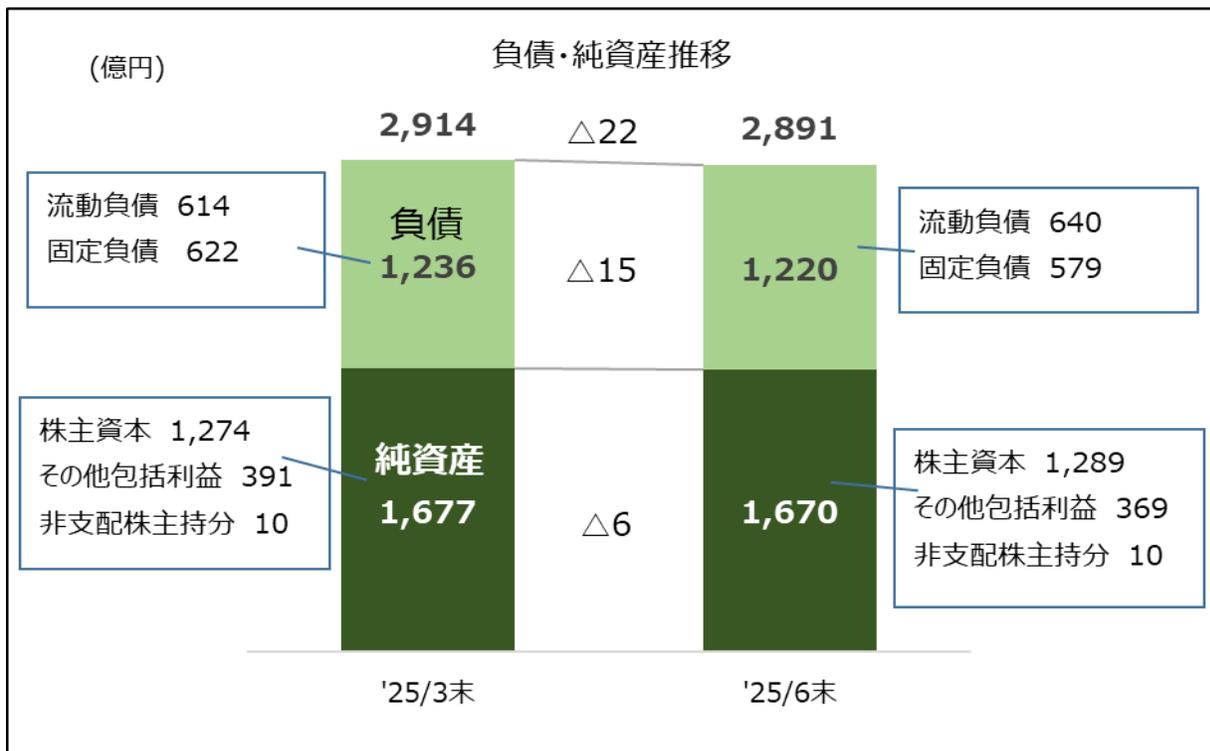
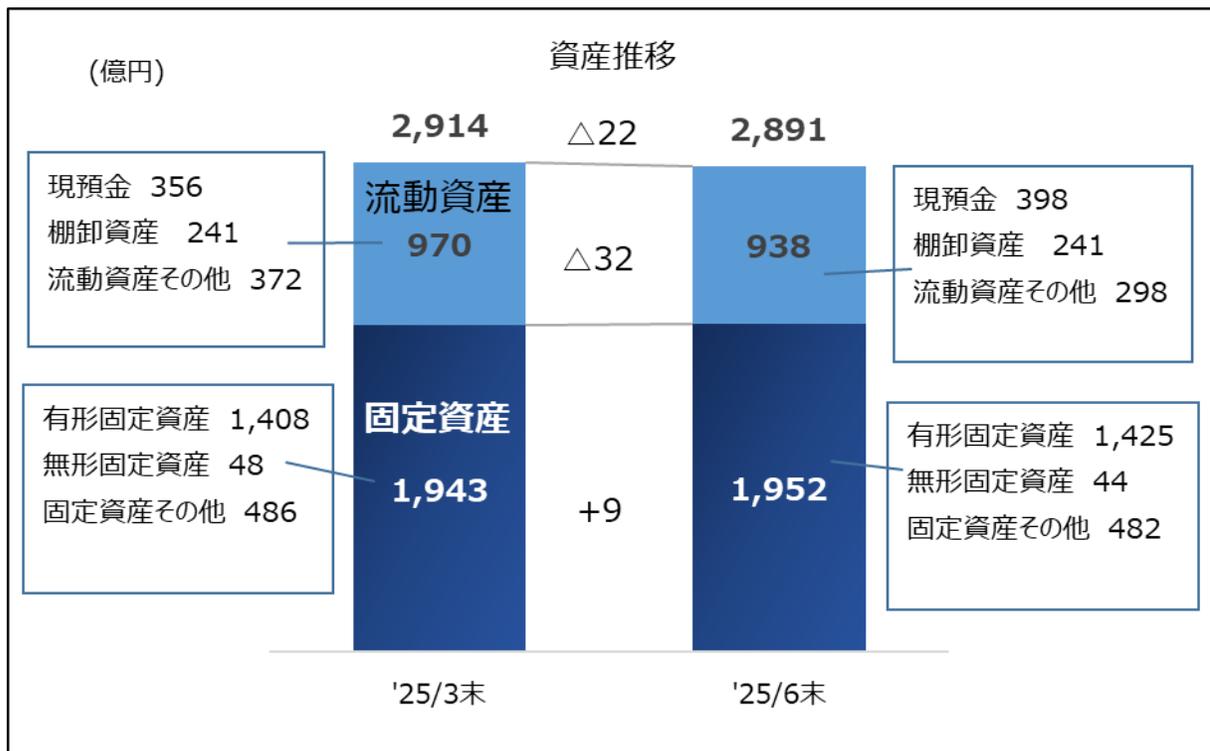


営業利益



1-7 連結貸借対照表

25年3月末と比較し、25年6月末の総資産は、22億円減少



1. 第1四半期業績
- 2. 2025年度通期予想**
3. 当社株式等に対する公開買付けについて

2-1 2025年度 連結業績予想

業績予想は据え置き、円高影響により通期で減収減益の見込み

(億円、%)

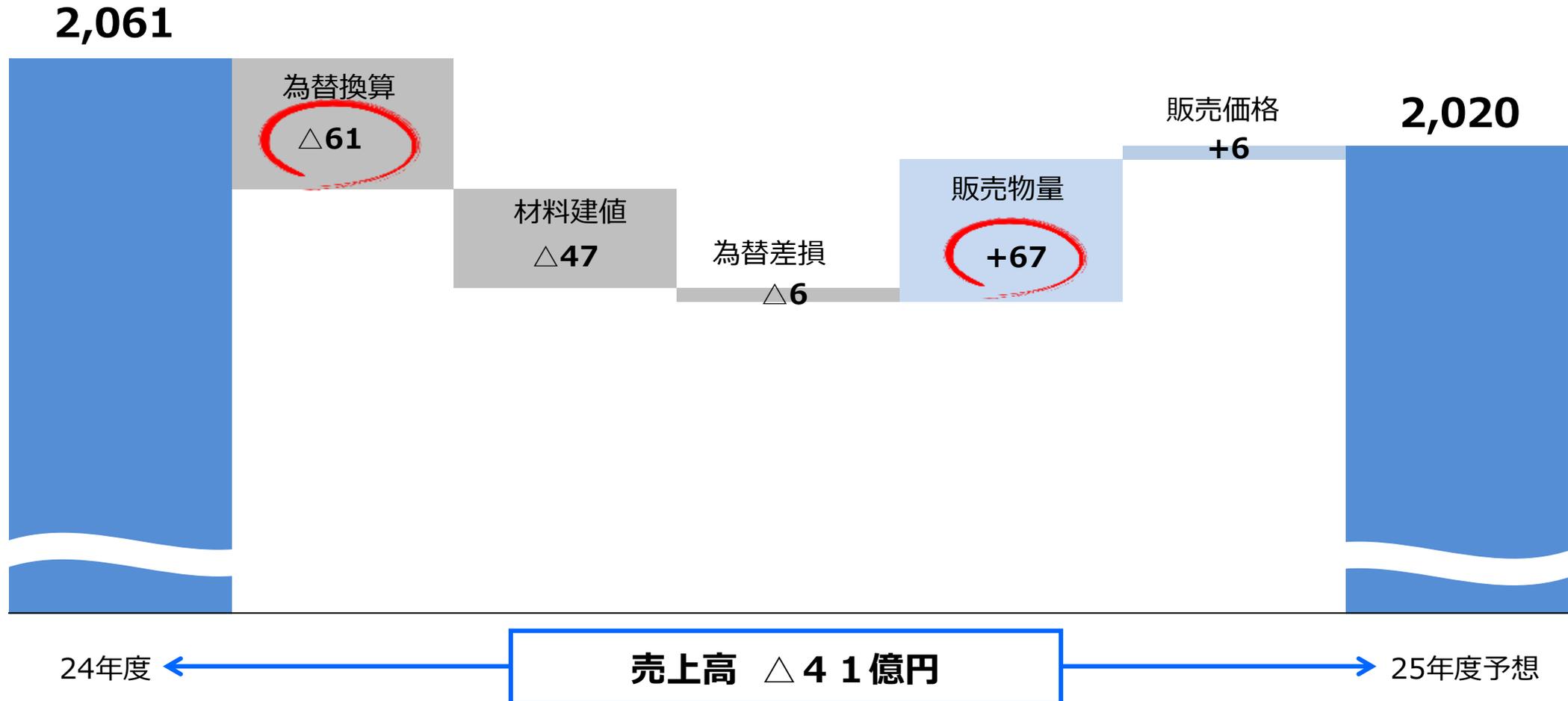
	2024年度	2025年度	前期比	
	通期実績	通期予想	増減	増減率
売上高	2,061	2,020	△41	△2.0%
営業利益	136	130	△6	△4.9%
営業利益率	6.6%	6.4%	△0.2P	—
経常利益	172	155	△17	△10.3%
当期純利益	132	110	△22	△16.8%
R O E	7.9%	6.5%	△1.4P	—
R O A (営業利益ベース)	4.7%	4.4%	△0.3P	—
平均為替レート (米ドル)	152.5円	145.0円	-7.5円	—

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益です。

2-2 通期 連結売上高 増減要因

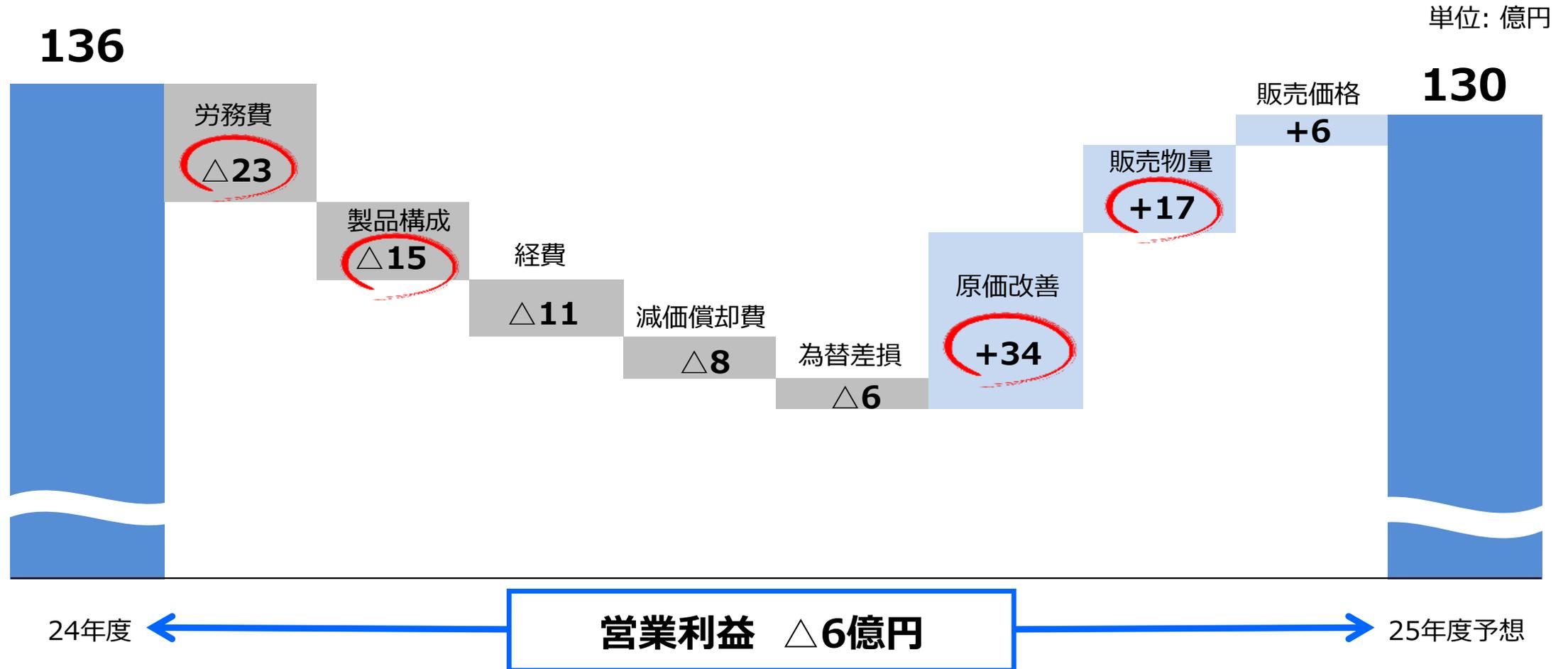
円高影響により売上高は減少

単位: 億円



2-3 通期 連結営業利益 増減要因

労務費等コストアップと製品構成差を原価改善、価格転嫁で挽回



2-4 通期 連結事業別セグメント

プレス・樹脂は減収増益、バルブは減収減益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	2024年度 実績	2025年度 予想	前期比		2024年度 実績	2025年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
プレス・樹脂	1,486	1,467	△19	△1.3	81	104	+22	+27.3
営業利益率					5.5%	7.1%	+1.6P	
バルブ	572	550	△22	△3.9	55	27	△28	△51.3
営業利益率					9.7%	4.9%	△4.8P	

2-5 通期 連結地域別セグメント

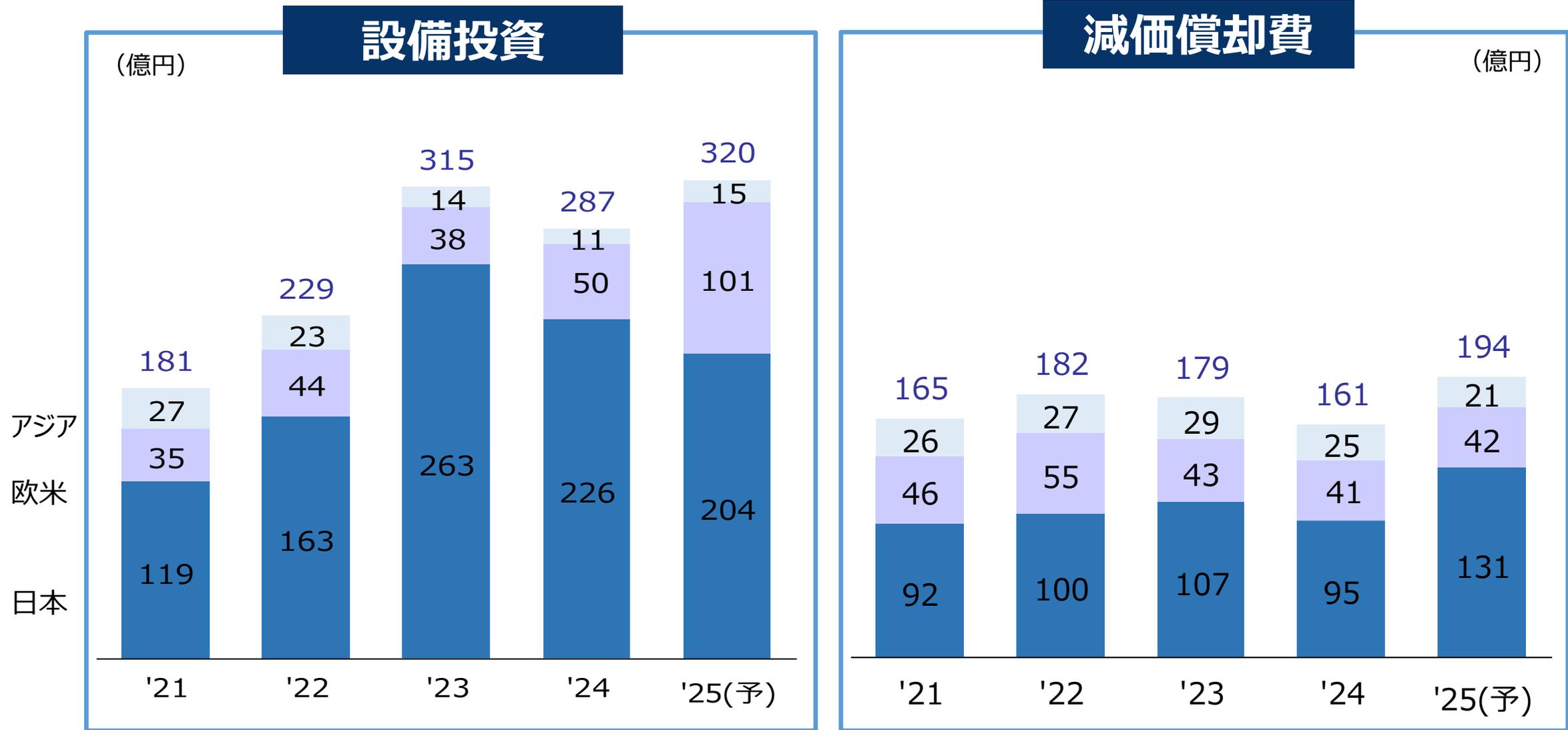
日本は増収、欧米は減収、アジアは減収減益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	2024年度 実績	2025年度 予想	前期比		2024年度 実績	2025年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
日本	684	765	+80	+11.8	54	54	△0	△1.5
営業利益率					8.0%	7.1%	△0.9P	
欧米	1,000	905	△95	△9.5	51	49	△2	△3.9
営業利益率					5.1%	5.4%	+0.3P	
アジア	376	350	△26	△7.1	26	19	△7	△29.5
営業利益率					7.1%	5.4%	△1.7P	

2-6 連結設備投資・減価償却費

技術開発センター、海外生産能力増強等、将来の成長のための投資を実施



1. 第1四半期業績
2. 2025年度通期予想
3. **当社株式等に対する公開買付けについて**

3-1 当社株式等に対する公開買付けの概要

本日、株式会社COREが当社株式等に対する公開買付けの開始に関するお知らせを公表
本公開買付けは、当社の代表取締役会長である小川信也及び代表取締役社長である小川哲史が
実施する、マネジメント・バイアウト（MBO）の一環として実施

本公開買付けの概要

項目	概要
公開買付者	株式会社CORE - 代表取締役 小川哲史 - 当社株式及び新株予約権を取得及び所有することを主たる目的として、2025年3月3日に設立された株式会社
スキーム	当社株式の非公開化（上場廃止）を前提とした当社株式及び新株予約権に対する公開買付け
買付け等の価格	普通株式1株につき2,050円、新株予約権1個につき1円
買付予定数	上限：なし 下限：35,841,900株
公開買付期間	2025年7月28日（月）から9月8日（月）まで（30営業日）
決済の開始日	2025年9月16日（火）

3-2 本公開買付けに対する意見表明

当社は、本日開催の取締役会において、本公開買付けに賛同の意見を表明するとともに、株主の皆様に対して、本公開買付けへの応募を推奨すること及び新株予約権者の皆様に対して、本公開買付けに応募するか否かについて、新株予約権者の皆様のご判断に委ねることを決議

本公開買付けに関する当社取締役会の決議事項

決議事項	理由
賛同表明	<ul style="list-style-type: none">● 自動車業界が大変革期を迎えている中、当社が「思いをこめて、あしたをつくる」存在として、今後も中長期的に企業価値を向上させるためには、中長期的な経営施策を、積極的かつ迅速に実行することが必要不可欠● 一方、これらの施策は直ちに業績に貢献するものではなく、時間と先行投資が必要になるため、短期的には利益水準低下、キャッシュ・フロー悪化等を招くリスクがあり、株主の皆様が短期的に悪影響を被る可能性は否定できない● 株主の皆様に対し、一時的な業績の悪化等による株価下落のリスク負担を回避しつつ、株式を売却できる機会を提供するとともに、当社株式を非公開化することが、当社の企業価値向上を実現する選択であると判断
応募推奨	第三者算定機関による株式価値の算定結果や類似事例における市場株価に対するプレミアム率、公正性担保措置の実施状況等を踏まえて、本公開買付価格（2,050円）及び本公開買付けに係るその他の諸条件は株主の皆様にとって妥当であり、合理的な株式の売却の機会を提供するものであると判断
配当	本公開買付けが成立することを条件に、2026年3月期の配当予想を修正し、2026年3月期の中間配当及び期末配当は行わない

※詳細は、2025年7月25日付で開示しております「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」及び「2026年3月期 中間配当及び期末配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」をご参照ください

3-3 本公開買付け後の経営方針



本公開買付け成立後も引き続き、当社の代表取締役会長である小川信也と代表取締役社長である小川哲史は、当社の経営に当たる

非公開化後に想定される施策

経営施策	概要
将来的なカーボンニュートラルを見据えた更なる技術開発力の強化	<ul style="list-style-type: none">● CAE構造解析技術の高度化と成形技術との融合によるボディ構造提案力の強化● 高強度な超ハイテン材を用いた難成形部品の工法開発投資● 防音・加飾技術力の向上を通じた新たな樹脂製品の開発力の強化
高品質な製品の安定的かつ長期的な供給に向けたサプライチェーンの強靱化	<ul style="list-style-type: none">● 日本・米国における電動車部品の生産能力増強に向けた拡充● 今後の成長が見込まれるインド市場を見据えたアセアン拠点の強化● 中国・欧州における拠点の再編や生産・販売体制の最適化● あらゆる生産工程の可視化・デジタル化やグローバルでのスマートファクトリー化
持続的な成長を見据えた新事業の創出	<ul style="list-style-type: none">● 技術開発センターにおける、開発・生産技術の一体的な研究開発体制の構築やイノベーションエリアの拡張等を通じた、多様な人財が挑戦・活躍できる開発環境の整備● シナジー効果が期待できる企業との機動的な業務提携やM&Aを含むアライアンスの実施
サステナビリティ経営の実現に向けた人財の育成・確保	<ul style="list-style-type: none">● ビジネススキル全般に関する教育プログラムの強化、キャリア形成や学び直し支援の推進● 全従業員へのDXリテラシー教育を通じた全社的なデジタルリテラシーの底上げ● 部署毎の特性に合わせたDX専門人財の適材適所な配置

3-4 本件に関するお問い合わせ窓口

公開買付け応募手続きに関するお問い合わせ

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

- TOBお問い合わせダイヤル
0120-532-347
受付時間：平日9:00～17:00
- 公開買付けのご案内（※三菱UFJモルガン・スタンレー証券HP内「TOB（公開買付け）」）
<https://www.sc.mufg.jp/products/stock/tob/index.html>

その他のご質問については、下記よりお問い合わせください

太平洋互業株式会社

- 経営企画部
TEL：0584-93-0101
受付時間：平日9:00～17:00



思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow